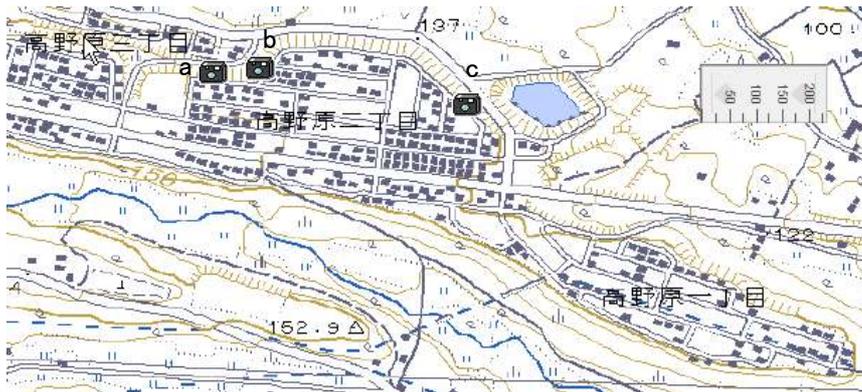


仙台の地形改変地(宅造地)における被害速報

村山良之 (山形大学 教育実践研究科)

2011年4月1日, 2日撮影の写真をもとに, 1.高野原, 2.折立, 3.南光台について速報する。

1. 青葉区高野原 (2011/04/01)



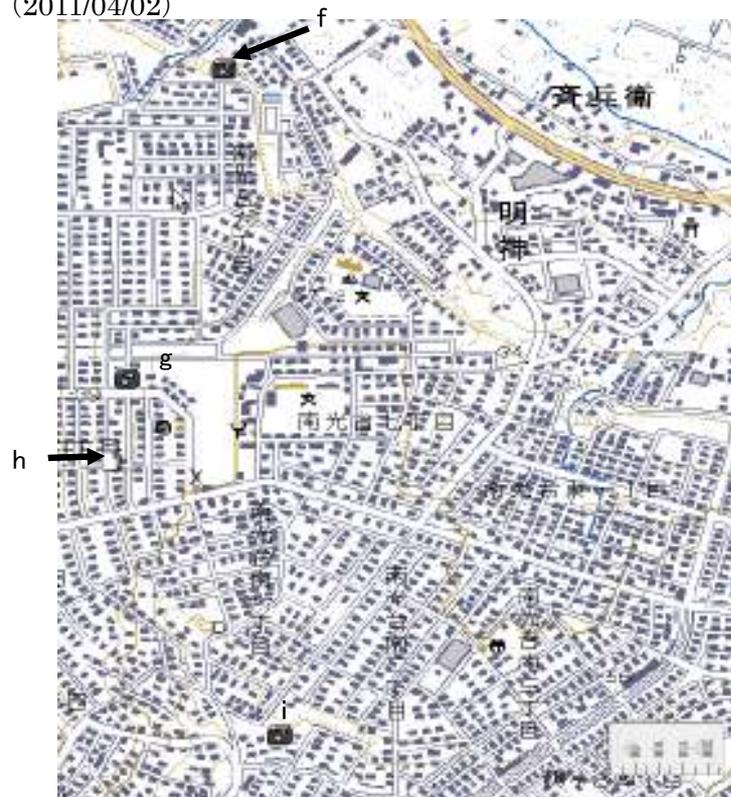
高野原 2 丁目の北部は, 盛土部と推定され, その北端部の法面近くでは, 宅地の亀裂, 住宅の傾斜などが数多く発生している。

2. 折立 (2011/04/01)



上の写真は、いずれも谷埋盛土部と推定されかつ法面直上の宅地である。dの集合住宅は建物そのものの被害は不明（ない？）だがその周囲の地盤変状が大きい。eは宅地に亀裂も認められ戸建て住宅も傾斜している。

3. 南光台 (2011/04/02)



i



南光台は、1978年宮城県沖地震でも大きな被害を経験した住宅地である。その際は、盛土部とくに切盛境界部での被災が目立った（右下写真，1978年撮影）。

2011年は、同様に切盛境界部，盛土部における被災が認められ（上記f～i），1978年の時より被災程度が激しいと思われるものもある。とくにhでは、谷埋盛土がかつての谷方向にすべったと推定される。fは谷埋盛土末端部の法面直上部での被災である。1978年の際も同様の被災があったと記憶する。



4. まとめにかえて

今回の震災は、津波被災による被害が圧倒的で、目立たないが丘陵地等の地形改変地の被災もかなり大きい。広域にわたる詳細な調査が必要である。

日本建築学会（東北支部）が計画中の建物被害調査の予備的調査として、また日本地理学会の災害対策本部の許可を得て同学会災害調査であることを示して実施したものである。上の地図は、カシミールを用いて国土地理院うおっちずを基図として写真位置を示した。

文献

村山良之（1980）宮城県沖地震による仙台周辺の住宅地における被害－住宅地の地震に対する土地条件．東北地理，32，1-10．

村山良之・熊木洋太（2008）GISを用いた地形改変地の震災土地条件評価．JACIC研究成果報告書．<http://www.jacic.or.jp/kenkyu/10/10-05.pdf>